

一 事業主側

工場主ニ在テハ依然強硬ノ態度ニテ対峙シツ、アルカ爭議団ノ分裂ニヨリ自己ニ有利ニ展開スルモノト觀測シツ、アリテ七月廿九日付ニテ別記(1)ノ如ク出勤督促ノ通知書ヲ郵送セリ他面工場附近住民ニ対シ別添ノ如キ「罷業状況」ヲ配布シ諒解ヲ求ムル所アリタリ

二 爭議団側

爭議団側ニテハ前報ノ如ク爭議団本部ト稱スル中島團長派(勞農系東京金屬労働者組合)長谷川副團長派(全銀系日本金屬労働組合)ニ分裂シ且ニ排撃セルカ長谷川派ヲ支持セルモノハ約六十名ニシテ過半ハ中島派ニ屬シ優勢ナリ前叙ノ如ク爭議団ノ分裂ノ結果何等交渉ナシ本部派(中島)ハ別記(2)及別添ノ如キ爭議日報ヲ発行シ、建友會派(長谷川)

又別記(3)(4)ノ如キ「機」及び「心ビラ」ヲ印刷シ干渉者ニ配布シ煽動ヲ努メ居レリ

三 警察事故

七月二十九日午後五時三十分頃就業職工ナル

齊下王子所下十條二四九 臨時職工 江原宗平 当廿五日  
全所山岸八九四 栗原方 全 鈴木昌年 当廿四日  
常備職工 川越 確 当廿五日

右三名ノ飯途ヲ權シ爭議団本部(中島派)ニ控致シ「何故工場ニ出勤スルヤ」ト詰問ノ上中島祐一、岸信彦等数名ニテ殴打セル為メ江原ハ頸部ニ全治三週間鈴木ハ下腹部分一週間川越ハ頸部ニ三日ノ各治療ヲ要スル打撲傷ヲ加ヘタル後「若シ警察ニ訴出ツルナラハ全家後皆殺スルベシト脅迫シタル事實ヲ探知セルニヨリ目下犯人捜査中ナリ

右及申(通)報候也